



2010

8

VOL.113

<http://www.fukuoka-sjc.org/>



大濠公園

特集

安全・適正就業

担当理事

自分の安全は
自分で守る

安全・適正就業対策担当理事

竹内 勝治



“皆さんご安全に”、日頃は皆様方には安全・適正就業にご尽力、ご協力いただき、ありがとうございます。今年度も我々シルバー人材センターの置かれている環境は決して安心できる状況ではありません。団塊世代の到来真最中で新入会員の増加は見られる一方、就業機会の減少で就業率が低下し、今まで本來のシルバー人材センターの目的である高年齢者への就業システムの発展・浸透を果たして来ましたが、今や、社会情勢及び会員意識の変化でその対応機能が不安定化しているのが現状です。

この様な状況の中で就業先の拡大や安全・適正就業を推進するには、会員の皆さんのご理解とご協力なくしては達成できません。

安全・適正就業は、事業運営の基本であり、会員の皆さんの就業中、就業途上の事故などを全力で防止せねばなりません。しかし、事故の発生は止まりません。

今年度発生の事故も今までに発生した事のある事故、言い換えれば防止する事が可能な事故ばかりです。しかし、人間には「錯覚」、「記憶違い」、「物忘れ」などがつきものです。これらをカバーするためには、お互いが注意し合う「相互確認」運動を展開して頂きたいと思います。自分では不安全な行動と気づかなくても、回りの人が見ればすぐわかる場合があります。

会員の皆さんには自己管理能力の向上が常に期待されています。組織的には安全対策委員会での事故防止対策や、安全パトロール、健康診断受診の奨励などを通じて、常時、安全確保を念頭に事故防止に取り組んでまいります。

安全はシルバー人材センターの最優先課題であり、永遠のテーマです。会員各位におかれましては安全・適正就業の大切さを再認識していただき活動されますようよろしくお願ひいたします。

東支部

安全・適正就業
促進大会

安全・適正就業対策担当

水谷 勇兵



毎年7月は全国シルバー人材センターの安全・適正就業強化月間です。これに連動し東支部としても事故災害の撲滅を目指し、会員一人ひとりに安全就業を呼びかける機会と位置づけて、各種の安全意識高揚策を展開しております。昨年度東支部は軽微な事故がほとんどでしたが、賠償6件、傷害9件、自動車4件、計19件、前年比+5件を数えました。今年度は前年の撤を踏むことなく、事故ゼロを目指し、更なる安全対策に注力することを誓っております。

7月23日午後2時から「コミセン和白」にて約200名の会員を集め、東支部安全・適正就業促進大会を開催し、今年度は職群班、地域班会員から選任された支部安全・適正就業推進委員

が大会運営役として活躍しました。司会、開会のことば、安全標語発表、安全宣言、閉会のことば等の役割を果たし、参加意識、仲間意識の高揚を得ました。東警察署秋吉警部補の交通安全講話、福岡県警「いきいき交通安全教育隊コア」による安全寸劇の上演、自転車事故など交通事故防止を強く啓蒙しました。

1) 安全・適正就業、2) 健康管理、3) 交通安全に対する意識の再確認、共通認識により、一層安全安心なシルバーライフを目指します。



博多支部

事故発生「〇」を目指して

安全・適正就業対策担当
松尾 慎治



平成22年7月10日(土) 午前10時より博多市民センターで「安全・適正就業促進大会」が開催され、303名の参加を得て盛大に行われました。

大会は委員長挨拶に始まり、関係担当理事の挨拶や就業中の安全等について意見発表がありました。

平成20年度の発生事故は18件、平成21年度の発生事故は14件でしたが、この2年間について事故を起こした会員が各職群班に所属しているか否かを調べてみました。

事故を起こした会員は、職群班に所属している人の2~2.5倍、非所属会員が多いことが判明しました。

どうしてだろうと色々思考してみると、職群

班に所属する会員は、安全対策委員会の委員である班長・リーダーから、対策委員会資料などを基に安全に対して指導を受けておられるからと思います。

一方、非所属会員は安全促進大会、会員の集い、地域懇談会、女性会員の集い等に出席しなければ安全の話を聞くことはできません。

これから各種大会・会合等への出席キャンペーンを行うと同時に、年に1回も出席しなかった会員には担当事務より出席を促してもらいたいと思っています。



中央支部

ヒヤリ、ハット 経験ありませんか!!

安全・適正就業対策担当
岩男 良二



私は、昨年7月から安全・適正就業対策業務を担当して1年が経過しました。

当初、過去の事故内容を分析してみると、「なんで? どうして?」と思われる事故が多いのにびっくりしました。

このような事故事例を見つめ、日々の安全・適正就業に努めてきましたが、結果的には当支部の21年度事故件数は11件で（傷害事故4件、賠償事故5件、自動車事故2件の事故内容）対前年度12件と比較して1件の減少でした。

このような事故の背景には就業中の「ヒヤリ、ハット」体験をただ単に「アーコカッタ！」でなんとなく見逃してきたのではないかと思われます。

不安全行為、不安全動作をフィードバックし、自分なりに原因を探求し、早期改善することが大切と思います。

安全担当者として、それぞれの職群別研修・講習会、パトロール、安全大会等を通じて、事例をあげながら、その背景にある要因を会員の皆様方と一緒に考え、事故の撲滅に取り組んでいきたいと思っています。



南支部

安全担当に
就任して

安全・適正就業対策担当

江口 一



本年4月1日より南支部安全担当に就任致しました江口と申します。

「安全・適正就業」耳慣れない言葉が飛び交う中を、各種の作業の中で会員の皆さんの安全を少しでもサポートできればと願い、自分自身が不慣れな部分を先輩の皆さんのお助けをお借りしながら毎日を過して参りました。

梅雨真っ只中の昨今、屋外での作業班はなかなか作業の予定が思うに任せぬ日々が続いております。また、配食等の方々は足元の悪い中を食事を待つ皆さんのもとへ夫々丁寧な対応を心掛けておられるように見受けます。

あつという間の3か月でした。就任と同時にできるだけ多くの作業に触れ合うことによって、そこに潜む事故や不安全な要因が見つかるものと考え、就業する皆さんと密着できるよう心掛けています。



城南支部

安全・適正就業に
思う

安全・適正就業対策担当

高畠 輝雄



6月に新たに任命された安全委員(支部役員・各班長及びリーダー等)の出席のもと、安全・適正就業委員会が開催されました。安全・適正就業担当として、前年度の事故事例を報告すると同時に、安全面での意識の向上を訴えました。また、各委員から有意義な意見を数多く頂戴しました。日々の就業に加え安全面の指導やチェックなど、各職群の安全委員に掛かる負担は大変なものだと思います。会員の一人ひとりが「安全は自分で守る」という意識を念頭に置いて安全委員と共に働く、共助の実践をお願いします。

また、安全就業は言うまでもなく、適正就業の意識を強く持って活動することも大切と考え、適正就業の再認識も重要課題の一つにあげたいと考えています。一件でも事故が少なくなるよ

う、一人でも不適正就業が減るよう、ご協力をお願いします。

◆安全・適正就業促進大会

◇日時 7月7日(水) 午後1時30分～午後4時

◇場所 城南市民センター3階 ◇参加者数 79名(男性61名、女性18名) ◇内容 堂園区委員長・竹内専任担当理事の挨拶に続いて、早良警察署

交通第一課交通総務係長海老崎浩一氏の講話を聞き、城南区役所提供的ビデオ「いつもの道にひそむ事故」を鑑賞しました。



早良警察署の海老崎浩一係長の講話を熱心に聞く会員

早良支部

安全担当者としての 方針・活動

安全・適正就業対策担当

加藤 義春



楽しく仕事ができれば、自然とその気持ちは相手（利用者）に伝わり、よい仕事が出来ると思います。何をどのようにしたら利用者から喜ばれるかを皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えています。

「安全就業」を行う上で、大切なことは、健康管理が重要であり、精神面ではストレスを溜めないことだと思います。そしてお互いに思いやりをもって仕事を行うことで事故防止に結びつけ

れば幸いかと思います。

活動手段としては、一人でも多くの会員と会い、明るく楽しい職場作りをPRしていきます。

会員の皆様のご協力、ご鞭撻をよろしくお願ひします。



西支部

適正就業と 余暇について

安全・適正就業対策担当

岩下 光彦



今年5月に開催された通常総会の中で、中長期計画のスローガンとして「生き活きと輝いて生きたい」「十日就業」「十日ボランティア」「十日余暇」「これシルバーの生きがい」の5項目が目標として上げされました。

これに基づき、重点項目として『1か月に「概ね10日程度」以内の就業で、週間当たり「概ね20時間」を超えない就業』を必要条件で行う事が「適正就業の徹底と、就業機会の均等化」として具体的に表現され、取り組むことになります。

不景気で就業先が伸び悩んでいる状況ではあります、これによって、現在待機されている会員の方も含め、会員の共働・共助により就業

機会の均等化がなされ、就業率の向上にも繋がると考えます。

就業やボランティアの中で、経験や知識を活かしながら、社会貢献をし、余暇でいきいきと趣味を楽しむことができれば、シルバー会員として、毎日が生きがいを持って楽しく生活できるのではないでしょうか。

最後に、安全については、就業中、途上を問わず、「安全」を第一に意識をして人生を楽しみ安全・安心に暮らしたいものです。



支部通信

東支部 ひがししふ

「シルバー農園」初めての収穫



3月にジャガイモを植え付けその後サトイモ、サツマイモの植え付けを行いました。カボチャ、ゴーヤ等も試験栽培をしています。

去る6月12日、晴れて蒸し暑い中、最初に植え付けたジャガイモの収穫にこぎつけました。品種はもっとも一般的な「男爵」「マイクイーン」の2種類です。

ジャガイモを傷つけないよう、恐る恐るゆっくりと三叉鍬を手前に引くと、黄金色をした大小5～7個程度の芋がぼろぼろと現れたときはちょっとした感激でした。

当日は4畝のうち3畝を掘り起こし、残り1畝は後日ということにしました。途中、東支部の職員さんから冷たいお茶の差し入れもあり、一服しながらの楽しい作業でした。

今後は、虫食い防除対策なども考えながら頑張っていきたいと思います。(木部会員)

手芸同好会 「ひまわり会」

東支部の「ひまわり会」は手芸を楽しむ会員が集まり、他支部の手芸サークルを見学させてもらったりして、今年4月に発足しました。

合屋会長のもと、10名で活動中です。

会員毎にリサイクル手芸、毛糸手芸、フェルト手芸、折り紙手芸など得意な作品を持ち寄り情報交換をしながら、アイデアと技術の向上を目指しながら作品の幅を広げていき、「シルバーギャラリー」の運営にも貢献したいと思っています。

手芸に興味をお持ちの会員さん、「ひまわり会」に参加してみませんか。(毎月第1・3水曜日の午後1時30分より東支部2階会議室にて活動)

先日不用のミシン、アイロンを提供して頂きました。不用の傘、アイロン等がありましたら提供してください。有効活用いたします。



広報委員 安武 和芳

博多支部 はかたしふ

「安全・適正就業促進大会」が開催される

平成22年7月10日(土)の午前10時より博多区市民センターホールで303名の参加を得て開催され、福岡市内7区の「安全・適正就業促進



「大会」では、最大の大会になっています。今回、開催された大会内容は概ね次のとおりです。

第1部の「博多支部安全・適正就業促進大会」は、坂井委員長の挨拶に続いて竹内専任担当理事、田中専任担当理事の挨拶と、担当業務にかかる会員の講話などがありました。

第2部は福岡県警による夏の交通安全運動として、①ハワイアンヘルシーフラダンスの「明るい服でフラダンスin山王」②福岡県警「いきいき交通安全教育隊コア」による寸劇が公演され、盛大な拍手が送られました。

この後、用意された昼食弁当を頂き、13時からも大会は続きました。

第3部は会員によるアトラクションがあり、舞踊・カラオケなどが演じられ、会場の皆さんも一緒に歌ったり手拍子で楽しんでいました。

予定した全ての演目が終了し、就業にかかる「安全・適正就業促進」の認識を新たにして、大会は14時30分に終了しました。



筆耕班研修会の開催 「研修会で切磋琢磨しています」

毎月開催している筆耕班の研修会が6月9日に開催されました。筆耕班は12名の会員ですが、当日は9名の会員が参加されています。



平畠班長の挨拶の中で班長会議の報告があり、今後の日程について説明がありました。

「6月15日初級・中級者の講習会、6月28日実務者講習会、7月8日に判定会が開催されることになりました。7月の判定会に出品する作品の「課題」は6月末に提示されるそうですから、自宅で1回でも2回でも良いから練習をしておいてください」との話がありました。

研修会は今月の課題研究に入り持参してきた封書や賞状を黒板に張り出し、平畠班長を中心に会員の皆さんで書き方等について、それぞれ詳細な研究と評価を行っていました。

会員は7月8日の判定会に合格できるよう、さらに切磋琢磨しながら、実力向上を目指していました。

広報委員 松井 洋治

中央支部 ちゅうおうしふ

「ラブアース・クリーンアップ 2010」参加



恒例となった全国各地一斉の清掃活動が6月6日(日)、福岡市でも大濠公園を中心に実施されました。

支部通信

主催者の発表によれば、今年で19年目になり、今回74団体1700名が参加しているそうです。

中央支部からも委員長他70名が参加し、さわやかな汗を流しました。

吉田福岡市長の挨拶では「今は九州、沖縄だけでなく、近隣諸国にも輪が広がり、本日、釜山市から地球環境を守るメッセージが届いています」という話がありました。

この活動は地味ですが、大人、子供を問わず家庭、及び地域の足元から地球にやさしい手をさしのべ、未来の世代に受け継ぐことが大切だと、参加会員、再認識した一日でした。

家事援助サービス班会議開催



6月17日(木)、福岡市市場会館第3会議室で34名が参加し開催されました。

江口委員長の開会挨拶では、家事援助サービス班の現状説明後「今後の展望について、少子高齢化、核家族の増加にともない、福祉・家事援助サービスの需要が高まり、年々実績を伸ばしております。これが、地域の皆様に役立つ事業として、今後ますます重要な役割を果たしていくものと確信しております。したがって会員、事務所一体となって、家事援助、子育て支援業務の遂行と発展に努力してまいります」とお話をありました。

続いて家事援助サービス班に携わる荒巻会員から就業体験談として「先日退院された82歳の老婦人を自宅まで同行するお仕事がありました。ここで感じたことは、一人暮らしの方の身の回りのお世話をするお仕事は、これから高齢者が増えていく中、もっと多くなっていくのではないかと実感しました」という発表でした。

最後に質疑応答の後、岡部班長の閉会の言葉で終了いたしました。

区役員会開催



6月18日(金)、午前11時から中央支部会議室で役員会が開催されました。

江口委員長から配分金実績(4・5月)について報告があり、引き続き適正就業についての詳細な説明がありました。

岩男安全担当からは事故状況(4・5月)の報告とともに、7月15日(木)13時から福岡市ふくふくプラザで開催される「22年度中央支部安全・適正就業促進大会」イベントの告知がなされました。

その他、地域懇談会、日帰り旅行の件、5月末現在会員数(男性484名、女性321名 合計805名で前年同月と比較して58名増)の報告があり、閉会いたしました。

広報委員 井手上 勉

南支部 みなみしふ

第1回 区役員会開催



5月21日(金)午後1時30分から、支部会議室で委員長はじめ、副委員長、就業開拓担当、役員等25名が参加して第1回役員会が開催されました。奥田副委員長の司会で開会し、矢口委

員長の挨拶に続き、以下のような報告がありました。要約すると、下記の通りです。

1. 事業実績報告（平成21年度）

配分金実績は、2億1,600万円。

会員数は、1,086名。

2. 事故関係

傷害事故は、就業中と就業途上で2件（前年比-2件）。

賠償事故は、7件（前年比+3件）。

自動車事故は、9件（前年比+3件）。

3. 未収金について

昨年度の未収金については、5月末より毎月返済するという約定書を取り交わし、未収金の回収に努める。

4. 会費未納者

年度末の未納者は、15名。

5. 新規入会者と退会者

入会者30名に対して、退会者は68名。

6. 事務所の配食担当専任

来年の3月までは専任者1名だが、来年4月からは専任者はいなくなる。その後の事務処理については、現在の支部就業会員で対応する。

7. 公平な就業機会の提供

同一就業場所にて、同一会員の就業は原則1年で、最長3年である。

8. 交通費の支給

平成23年度より廃止とする。

9. 運転の就業について

送迎用の運転は来年度より廃止の予定です。

ただし、運転業務が手段となる配食等は継続される。

10. その他

通常総会（5月27日）への参加依頼。ラブアース・クリーンアップ（6月6日・塩原北公園）への参加協力要請。ソフトバンク野球観戦券（8月以降）の申込みは、シルバーだより6月号を参照等の連絡事項でした。

質疑応答では、「なぜ、事故件数が多いのか、何か対策はないのか」、「来年度から交通費が支出されない。代わりに配分金のアップに繋がるのでは」、「刈払い機の使用中に、周囲の状況を判断し、防護ネットの活用が不十分だったのではないか」等の質問が出されました。

最後に、矢口委員長の退任の挨拶がありました。

「2年間、大変お世話になりました。就任の時は不安でしたが皆さんのご支援とご協力により、無事に終えたことを嬉しく思っています。本当に有難うございました。健康に気をつけられて平松新委員長の下で頑張って下さい」（大拍手）

新年度になると人との別れがあり、出会いもあります。そのために多少の緊張と不安を伴います。しかし、“人間は人間の中で揉まれながら成長していく”という信念を持って、新体制になつてもチームワークを保ち、前向きに歩んで行きましょう。

“ラブアース・クリーンアップ”に会員30名が参加



今年の「ラブアース・クリーンアップ2010」は、6月6日（日）午前9時から塩原北公園一帯の河川や公園等での一斉清掃が行われました。南支部からは、会員30名が揃いのベストを着用して参加しました。

“今年も町や川を美しくしましょう”というキャッチフレーズのもと、平成4年から実施し、今年で19回目になりました。この運動は福岡市が提唱し、今では関東、関西、中国地方、さらには隣国韓国まで広がり、波及効果が大きいと言われています。

清掃中、「どうして、こんな所にゴミが捨てられているの」とか「なんで燃えるゴミよりも空き缶や瓶類等が多いんだろう」と、驚かれていました。わずか1時間余の清掃でしたが、ゴミ集積場には、ビニール袋で20個以上が山積みされていました。最後は三々五々の解散でしたが清々しい気持ちで家路につかれました。

広報委員 高濱 一郎

支部通信

城南支部 じょうなんしぶ

「地球にやさしい清掃活動ラブアース・クリーンアップ2010」に18名が参加



誰でも楽しみながら参加できる「地球にやさしい清掃活動・ラブアース・クリーンアップ2010」が6月6日、全国の公園や海岸、河川などで一斉に開催されました。

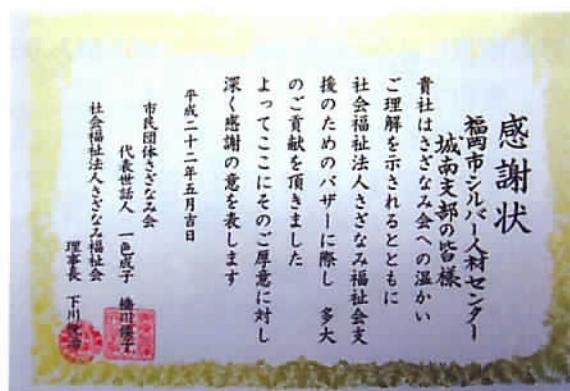
樋井川の河川敷で開かれた城南区の同活動には、センターから堂園委員長を初め18名（男性会員6名、女性会員12名）の支部会員が参加しました。午前9時に区役所東側広場に集合した参加者は、それぞれゴミ袋を手に別府橋下流の河川敷のゴミ拾いに精を出しました。

別府橋下流は、近所の子どもたちが水遊びや魚すくいをしたり、砂州では家族がバーベキューや花火に興じるなど、身近な遊びの場として親しまれている隠れスポット。堂園委員長は「今回は、子どもたちが心置きなく遊べるようにと、砂に埋もれたペットボトルや空き瓶、空き缶などを中心に清掃をしました。これで安心して河原で遊べるのではないか」と、額にじむ汗を拭っていました。

社会福祉法人さざなみ福祉会から感謝状

今年4月に福岡Y.M.C.A国際専門学校で社会福祉法人さざなみ福祉会主催によるチャリティーバザーが開かれ、大盛況だったことは、前号でお知らせした通りです。

同バザーには、シルバー人材センターの普及



啓発を兼ねて支部会員12名が商品の搬入や陳列、レジ、販売などにボランティアとして参加し、会場を盛り上げましたが、そのお礼にと、同会の下川悦治理事長及び市民団体さざなみ会世話人の一色成子さん、橋川倭子さんから感謝状が贈られました。

広報委員 藤 勇三

早良支部 さわらしふ

新体制で役員会を開きました



6月21日（月）の午後、五島委員長となって初めての役員会が、支部会議室で井上副委員長の進行により開催されました。この役員会には、五島委員長・斎藤専任担当理事をはじめとして40名の役員が出席しました。

先ず、五島委員長から、次のような話がありました。



（就任の挨拶）

このたび、中村委員長から大役を引き継ぎました。皆様の絶大なご支援ご協力をお願い致します。

(当センターの現状)

5月末現在、会員数は7,102名(男性4,665名・女性2,437名)で、構成比は男性66%・女性34%です。配分金は2億64百万円で前年比96%です。内訳は公共が1億13百万円(前年比108%)・民間は1億51百万円(前年比88%)です。公共が伸びた主な要因は、指定管理者として南支部の駐輪場を取得したことです。

(支部の現状)

5月末現在、会員数は1,137名(男性808名・女性329名)で、構成比は男性71%・女性29%で他の支部と比較して、女性の会員が少なく、女性会員の増員が必要と考えます。配分金は42百万円で前年比94%です。内訳は、公共が22百万円(前年比98%)、民間は20百万円(前年比90%)です。民間の減少した要因はプラリバ等の契約が昨年の5月に解除となったためです。

(支部の指針)

「就業率」を最重要指標として注視していきます。5月の支部就業率は58%であり、福岡市の平均55%よりは高い状態ですが、ワーク・シェアリングを進めることで「就業率」を一層高めてまいります。このため、配分金の減少等により不満の出ることも考えられますが、地域社会への貢献・「共働・共助」の精神を理解して頂くことで仲良く働く職場作りを目指したい。特に職域班長には是非とも「明るい職場作り」に努めて下さるようお願いします。

(事故発生状況)

4月・5月の2か月の事故件数は損害賠償事故1件のみでした。昨年度の事故総数は3件であり、これを超えないようにと願っています。

最後に、斎藤専任担当理事から前期に統いて今期も公共関係を担当することになり、4支部の駐輪場について指定管理者となること・平成23年度に公益社団法人へ円滑に移行すること等についての説明がありました。

「ラブアース・クリーンアップ」に 今年も参加しました

「ラブアース・クリーンアップ2010」が、今年は6月6日(日)に全国規模で開催されました。



早良区では、百道浜と室見川の2箇所が実施会場となりました。早良支部は、今年も室見川の河畔公園に会員30名が集り、揃いのベストを着てこのイベントに参加しました。

この「ラブアース・クリーンアップ」は、平成4年から“地球環境と地域行動”的実践活動として、市民・企業・行政が協力し、海岸や河川など、地域美化運動の一環としての清掃活動で、今年で19回になります。

会場には、私達シルバー人材センターのほかに、各地区の自治協議会・各小学校区・社会福祉関係・企業等の6団体と個人参加で総勢450名となり、昨年を上回るボランティアの方々が参加されました。

9時からの開会式の後、参加者は手袋や火バサミ・ゴミ袋などを手に、室見川の上流・下流の河畔に散っていきました。

天候にも恵まれ、今年は特に親子の参加が多く、父母がお子さんを指導しながら懸命にゴミを収集している姿が目立ちました。娘さんと一緒にゴミを拾っていたお母さんに聞きますと、「娘が公共施設でも、綺麗にすることを覚えてもらえればと思って二人で参加しました。毎年ゴミは着実に少なくなっていますね」とのことでした。

10時10分から40袋余りに集められたゴミの前で閉会式がありました。

最後に早良区長から、参加者に慰労の言葉があり、10時半に解散しました。

広報委員 高橋 勉

支部通信

西支部

「ラブアース・クリーンアップ 2010」に参加して



19回目を迎える「ラブアース・クリーンアップ」で、今年も各地の海岸や河川の清掃が行われました。

西区でも十郎川や生の松原など各場所で実施され、当支部では「生の松原」と「長垂海岸」に参加しました。

生の松原では、例年「西日本短期大学」が中心になって「塵の種類の分析」「塵の増減傾向」など調査している関係で、同短大責任者の挨拶があり、そして参加各団体の責任者による掛け声で一斉に清掃が始まりました。

清掃に当たっては、九州大学が松原を1922年から演習林として、松の管理、育成に当たっていることから、松林に入る場合の注意がありました。

各自治会や各種団体、或いは個人での参加もあり、約1時間で、分別された塵が集められ、海岸は見事に綺麗になりました。

この海岸には、「西区の夏の花」に指定されている「ハマヒルガオ」が、今の時期丁度見事に咲き乱れています。「ハマヒルガオ」と共に、いつまでも「白砂青松」の生の松原であって欲しいと願いながらの参加でした。



地域の方に喜ばれて!



西支部のカラオケサークル「なかよしカラオケサークル」は、組織換えして4年になりますが、3年前から始まった「老健施設・老人ホーム等の慰問」も、今では平均月に1回くらいになりました。

6月26日(土)には「さわやか野方館」を15名で訪問しました。

この施設は、「住宅型有料老人ホーム」で、現在は満杯との事です。

平成19年7月1日に開所されたこの施設では、平成20年9月の「敬老の日」にちなんでお声がかかり、一度訪問しています。

この日は施設の6月誕生会と合わせて、入所者(主としてデイサービスに来られている方)30~40人の方々に歌や手品、そして踊りを披露しました。曲によっては施設利用者と一緒にになって歌います。歌詞が読みにくい方には、会員が側に寄り添い歌います。今回は踊りの時に、入所者が飛び入りで踊られたりして、大変な盛り上がりでした。体が不自由な方もあるので、大体1時間くらいの出演?です。

「地域の方に喜ばれるシルバー」のモットーが、この施設訪問にも見ることができた取材でした。



広報委員 岡崎 幸雄

株式会社山元は1965年1月に設立し、各種商品陳列ケース什器類のレンタルを開業。1988年2月に九州営業所を開設、2004年6月に箱崎ふ頭に移転して新商品センターが完成しました。

当社の主な事業は、催事会場・展示会場等へのショーケース・陳列器具のレンタルで、常にお客様の要望に的確にお応えするため、より質の高いものを適正価格で迅速に提供することを変わらぬ理念として追求し続けてまいりました。

「ジャスト・イン・タイム」で納品するための体制作り、トレンドを先取りした商品開発、リーズナブルな価格でご提供するための自動化・省力化など、さまざまな施策をうちだし、時代に先駆けたサービス力を構築しています。

「福岡市シルバー人材センター東支部様からは、きれいな器具提供のお手伝いをして頂く為、毎日3名（登録7名）の方に来て頂き、器具の清掃・メンテナンス作業に従事して頂いております。

今後も人生経験の豊富さ、知識の豊富さでお客様に喜ばれる器具の提供のお手伝いをして頂けたら幸いです。」（株式会社 山元 九州営業所 大久保所長 談）



広報委員 安武 和芳

県連 安全就業促進大会

福岡県シルバー人材センター連合会主催の平成22年度安全就業促進大会が、7月15日(木)、博多区の大博多ホールで開催されました。

県内の各支部から多数の会員が参加され、生田会長挨拶、ご来賓の挨拶の後、安全就業の標語の表彰式があり、当センターからは、東支部の永澤 隆会員の「安全と 健康管理は自分から」が入賞し、表彰を受けました。

続いて会員や講師より、安全就業への取り組みや事例発表があり、博多警察署からは、「交通安全講話」を、日産自動車(株)からは「災害ゼロの職場づくり」の講話を頂き、最後に全員で安全就業宣言を唱和し、「災害ゼロ」を誓い、盛会のうちに終了いたしました。



「剪定」「除草」「刈払い」の就業希望者募集

この三つの仕事は、時季的に集中する仕事で、特に夏場には申し込みに対応しきれない状況です。

お客様に喜ばれるやりがいあるお仕事です。隨時、講習会も開催いたします。

やってみようという方は是非、支部へお電話ください。

専任担当理事 北 米雄

委員長紹介

22年度東支部の取り組み

東支部
石崎 哲夫



現下、当センターは新法人認定に向け、いろいろな見直しを求められています。従来のやり方を反省しながら新しいシルバー人材センターづくりに生かしていくかねばなりません。区委員長として意を新にしているところです。以下、施策を申し上げます。

- 1) 就業先の確保と新規開拓・まず現有就業先の維持確保と駐輪場指定管理者の継続指定確保を目指します。また普及啓発担当者との協力でシルバーに見合った仕事の開拓と受託に務めます。
- 2) 安全・適正就業の推進・就業中、前途の事故撲滅と健康管理の啓蒙、ワークシェアによるローテーション就業を進めシルバーらしい就業のあり方を目指します。
- 3) 情報共有化と時宜を得た連絡・種々の会合を通じシルバー関連情報を共通話題として持ち合い、共通認識を深めます。
- 4) 新事業の取り組み強化・就業以外での健康・友人・生きがいの3づくりのためシルバー農園・サークル活動・シルバーサロン等の立ち上げに努めます。
- 5) 明るく、さわやかな事務所づくり・変革を余儀なくされている中で、正確な情報提供と会員目線の気安い雰囲気と元気な挨拶の、開かれた事務所づくりを目指します。

以上、総花的ですが、支部スタッフはじめ会員各位にご協力を頂きながら同時進行で取り組んでいきます。

平成22年度の抱負

博多支部
坂井 佳晴



基本方針

- ◎安全・適正就業・適正受注を更に推進すると共に継続受注に関して、内容・時間を明確にして

契約書を作成していきます。

- ◎会員一人ひとりが就業を通じて健康を保持し、社会参加の喜びと生きがいを目指します。
- ◎会員一人ひとりがお客様への接遇態度やサービス面での就業意識の改善、向上を目指し、社会(発注者)に役立ち、喜んでもらえる博多支部を目指します。

重点活動方針

(1) 就業開拓の推進と就業先の維持

21年度は経済不況のなか民間企業からの受注が激減、民間の配分金が前年比82%となりました。現在何とか落ち着いてきましたが、まだ厳しい面があり、22年度は会員の就業先の確保と就業継続企業の維持の為、21年度以上に22年度は就業開拓に重点を置くと共に就業継続維持のため会員皆様の更なる接遇、就業意識の改善、向上を目指していただくようご協力をお願いします。

又、就業先が増えない経済状況の中、安全・適正就業を基本に多くの会員さんに就業していただく為に、ローテーションを更に促進をしていきます。

(2) 独自事業に挑戦

22年度は他都市で行っている独自事業を参考に、博多支部として何ができるか独自事業を興す調査の年にしていきたいと思います。

(例) 自転車のレンタル・再生事業、子供の一時預かり所、便利屋さん等

(3) 会員の健康・安全を最優先

年1回の医療機関による健康診断の推進及び限りなく事故〇を目指すと共に、25年度公益法人認可をとるために、適正な就業日数・時間を目指します。

(4) 会員主体の支部運営を推進する

21年度に続き地域懇談会の継続、職群班の拡充、区役員会の定例化を目指し、各会議の内容充実と参加人員の増加に力を入れます。

(5) 支部事務所内の連携

昨年に引き続き、各部門の情報を共有し、仕事の発注者及び会員の皆様に常に対応できる事務所、会員が活動しやすい事務所、会員に開かれた事務所を目指します。

回顧と抱負

中央支部
江口 清一



平成12年4月入会以来、幸い健康にも恵まれ大過なくすごす事ができ、喜ばしく思っております。今後共、職務に精励したく存じます。

顧みますと、平成12年5月、知らぬ同士（私を含む）4人が新たに配食4号車に配属され、6月には配食車、計5台、総勢21名の大所帯になりました。

勢いが有り、いろいろな職種を経験した会員同士との交わり、数多くの利用者との出会い等があり、得難い貴重な体験をしました。今となっては隔世の感があります。

次いで公共事務業務（駐輪場他担当）に転出しまして、一番印象に残っている事は七隈線の開通であり、指定管理者制度の発足であります。

シルバー人材センターの組織力と会員相互の地道な努力に対して、敬意を表するものであります。

最後に、これからも色々な難題に直面しますが、常に冷静に「和」をもって、「是々非々主義」を貫き、「真剣」に対応するならば必ずや道は開かれてくるものと確信します。

評価と信頼を得る取り組みを

南支部
平松 敬司郎



新しい公益法人への移行という重大な課題がある中、委員長となり、身が引き締まる思いです。南支部では関係者のご努力をいただき、本年4月から「駐輪場」の指定管理者となりました。これを機に、市民の皆様から「さすがシルバー人材センター!!」との評価と信頼をいただけるよう取り組んでまいりたいと思います。

その基本は会員が「明るく楽しく」就業できる環境を作ることだと思います。支部事務所が明るく楽しいこと。高齢者に相応しい「安全・適正就業」が徹底されていること。更に「就業機会の公正化」が図られていることなどなど、会員皆さん

の知恵を借りながら改善すべきことは思い切って改善していきたいと思います。
よろしくお願ひいたします。

委員長に就任して

城南支部
堂園 完治



金山駅駐輪場から支部公共担当及び副委員長を経て、6月1日に就任しました。

40日が過ぎましたが忙しいですね。支部役員会、安全・適正就業委員会、安全・適正就業促進大会、新入会員説明会・研修会、支部役員研修会、支部連絡会、駐輪場リーダー会議、それに本部での総務部会、理事会・合同部会があり、支部業務としての安全パトロール、事故対応、お客様対応、就業手配云々と。支部の皆さんのご協力のお陰で何とかスケジュールをこなしている現状です。

今後は、就任時に役員の皆様にお話しした「支部業務の各担当は、目標を持った計画性のある活動を通して、会員の皆さん生きがいを高め、活気ある地域社会づくりに貢献できるような組織作りを目指します。」を目標に進めていきたいと思っております。そのためには、支部は、シルバー事業の理念・趣旨、仕組みを今一度勉強し、無駄なあるいは難しい業務を整理・簡素化し、その分できるだけ多くの会員の皆さん、お客様と向きあおうと考えております。皆さんのご協力、ご指導をお願いいたします。

「和」を大切に、明るく楽しい職場作りを

早良支部
五島 勲夫



この度、早良支部の委員長を仰せつかりました。微力ではございますが全力で「明るく楽しい」職場作り、生きがいを感じる職場作りを目指し推進していく所存です。ご支援よろしくお願い致します。

さて、今年は来年申請予定の公益法人の準備の年です。センターにとっては曲がり角であり、規

則に則り、就業実態の正常化を見直す良い機会であります。

ここ数年、経済は低迷し将来の明るい見通しも期待できず、一般の有効求人倍率も回復の兆しが見えない状況の中、高齢者にとっては、ますます就職難になるばかりです。

当支部も不況の影響をとともに受け、就業契約の打切りなど就業先の減少と会員の増加に伴い、就業率は低下するばかりで、特に今年1月からの就業率低下は目に余るものがあります。厳しい現実の中で、公益法人申請による更に厳しい就業規則を遵守し、就業の正常化を図らなければなりません。当支部は、規則遵守する上で、安全就業に関する問題はありませんが、就業日数と就業時間の問題が発生する職群があります。

この問題を解決するには、ワークシェアリング以外に方法はありません。ワークシェアリングを行うことで、1人当りの就業日数及び時間の短縮により就業規則を遵守することができます。既就業者にとって、現行より就業日数及び時間が減少しますが、公益法人を取得するために、避けて通れないことを理解していただきたいと思います。

ご理解いただくため、職群の会議、集会等で機会あるごとに話をし、今年度の実績を分析しつつ、22年11月頃までに明確な方向づけをし、23年2月までに会員に周知徹底し23年4月から施行します。

早良支部の委員長としての方針(指針)としましては、チームの「和」を大切に、「明るく楽しい職場作り運動」を促進します。

和の本来の意味は、声を合わせ合唱することです。それぞれが声を響き合わせて、豊かで力強い歌となる、それが合唱の真髄です。そして複数の個性や役割がうまく調和し、1プラス1が2以上に大きな力を生むことが「和」の真髄です。

和を大切にし、明るく楽しい職場作りを推進することで就業効率を高め、好感の持てる接遇、安全就業に結びつけたいと思います。

各班長、会員の方々のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

支部の会員の皆さん、同じ働くなら「明るく、楽しく」働きではありませんか。

新たな就業の場の創造を

西支部
岩本 嘉宣



会員の皆様におかれましては、日頃よりシルバー人材センターの事業運営について、ご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。

昨今のきびしい不況による影響は、一般世間はもとより当センターの事業にも及んでいます。企業や個人では、今まで外部にゆだねていた仕事を経費削減や節約などのために取りやめ、極力自分たちの手で補うような状況が広がってきてています。

特に民間の仕事において、たとえば1週間に3回あった仕事が1回に減ったり、昨年受注した同額の見積金額が今年は見合せたいなど、今後の見通しも厳しい状況にあります。

更に、適正就業の観点から、来年度(23年度)より送迎車の運転業務からの撤退や懸念される就業先の見極めなども行うことで、就業先がさらに減少することが考えられます。

このような状況のもと、一人でも多くの就業の場を確保するため、事業所や個人を対象に開拓に努めていますが、急激な回復は見込めません。

このような状況を開拓するには、われわれ会員自身がそれぞれの地域の特性を生かした「就業の場を創造」する必要があります。「独自事業の立ち上げ」、一部補助金の支援を受け、「教育・子育て・介護・環境」の分野で地域社会に貢献する事業などへの取り組みなど、会員全員が知恵を出し合うことにより、新たな展開が期待できます。

日ごろより西支部の皆様には機会あるごとに自分たちの就業先は「全員セールスでカバーしよう」とお願いしていますが、今後とも良いアイデアなどがありましたらよろしくお願いします。

西支部の会員様の平均年齢は68.9歳(平成22年6月現在)に及んでいます。昨年度は皆様のご努力により、就業にかかる西支部の事故は激減いたしました。

今後とも「安全第一」、「決して無理をしない」、「自分の身体は自分で守る」をモットーに共働・共助、譲り合いの精神でみなさんが少しでも長く楽しくシルバー事業に参加いただければと願っています。

平成22年度 会議開催状況（6月～7月）

●理事会

回	開催月日	議 案
4	6月1日(火)	●理事長・常務理事の互選について
5	6月24日(木)	●正会員の入会について ●受託業務見積単価基準の改正について
6	7月28日(水)	●正会員の入会について

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議 案
3	6月16日(水)	●未収金対策について ●運転業務について ●指定管理者について
4	7月21日(水)	●未収金対策について ●配食サービスについて ●福岡市暴力団排除条例について ●支部就業会員の配置について

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議 案
3	6月4日(金)	●理事の役割について
4	6月18日(金)	●業務部会の取組状況について ●独自事業への取組について ●指定管理者制度について ●運転業務について
5	7月16日(金)	●業務部会(担当)の取組状況について ●事業計画への取組 ●カレンダー作成について

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議 案
2	6月24日(木)	●総務部会及び業務部会報告 ●平成22年度5月事業実績について
3	7月28日(水)	●総務部会及び業務部会報告 ●運転業務について ●平成22年度6月事業実績について

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議 案
2	6月24日(木)	●平成22年度事故状況について ●安全・適正就業強化月間の取組について ●損害賠償の審議事項 ●適正就業について
3	7月28日(水)	●平成22年度事故状況について ●熱中症について ●損害賠償の審議事項

●互助会業務委員会

回	開催月日	議 案
3	6月3日(木)	●役員・支部担当の交代について ●「ハイキング」の結果報告について ●「囲碁大会」開催に向けての準備について
4	7月1日(木)	●「囲碁大会」開催について ●「ボウリング大会」「歴史探訪」開催準備について

平成22年度 実績報告

(6月末現在)

●会員数	7,183名	●就業者数	4,227名
男 性	4,717名	●就業率	53.7% (月平均)
女 性	2,466名	●事業収入	5億6,375万円

平成22年度 事故発生状況

(6月末現在)

●傷害事故	8件	(前年同期 9件)	前年度比 - 1件
●賠償事故	9件	(" 9件)	" 0件)
●自動車事故	6件	(" 4件)	" + 2件)
●計	23件	(" 22件)	" + 1件)

■傷害事故 (5月1日～6月末日)

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事内容	事故の状況	部位	症状	傷害の程度		
								入院	通院	手術
5/20	就業中	女	64	公園除草	就業先公園内にて、除草した草を集め作業を行っていた際、左目付近に違和感を感じ、左目上下、腹部、右手指に腫れや充血、発熱が生じた。近くの皮膚科を受診した結果、虫刺されによるものと診断された。	顔面・腹部・手指	虫刺症による炎症	○		
5/26	途上	女	73	家事援助	就業先より自転車で帰宅途上、自宅近くの下り坂を走行中に、標識と接触して転倒し、顔面等を強打して意識を失い、救急車にて搬送された。	顔面等	打撲	○		○
5/27	途上	男	75	駐輪場	自転車で就業先へ向かう途上、就業先駐輪場に到着したので、入口に向かうため車道から歩道に上がりこうとしたところ、車道と歩道の間の約3cmの段差で、前輪がスリップして転倒し、救急車にて搬送された。	左膝蓋骨	打撲	○		
6/4	途上	女	74	ビル清掃	徒歩で就業先へ向かう途上、横断歩道を渡っていたところ、右後方より走行してきた自転車に追突されて路上に転倒し、救急車にて搬送された。	右大腿部	骨折	○		
6/27	就業中	女	65	調理・食品	就業先にて惣菜のパック詰め作業中、移動時に足を滑らせて転倒し、臀部を強打した。	尾骶骨	ひび		○	

■損害賠償事故 (5月1日～6月末日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
5/5	男	70	施設管理	就業先介護老人福祉施設にて、浴室奥の扉が開いたままだったため、中に入つて扉を閉めて引き返そうとしたところ、床が濡れていて足もとかぶらつき、施設から預かって胸ポケットに入っていた簡易型携帯電話(PHS)を浴槽に落とした。すぐに拾い上げ水気を拭き取ったが、浸水により通話不能になった。
5/11	男	65	刈払除草	就業先公園にて草刈り作業中、芝刈機で石をはね飛ばし、石が作業現場から約16m離れた美術館喫茶室の窓に当たって、窓ガラスが破損した。防護ネット等による安全対策は、行われていなかった。
5/14	男	66	刈払除草	就業先緑道にて草刈り作業中、自転車が接近してきたため、安全監視員が笛を吹いて作業の中止を指示したが、5名いた作業員のうち2名は、お互いが接近し過ぎて笛の音が聞こえず、作業を続行した。その結果、刈払機ではね飛ばした細かい石粒が、現場近くを自転車で通りかかった男性の左顔面に当たった。男性にけがはなかったが、市役所に匿名で抗議があった。防護ネットは家屋近辺には設置していたが、道路側には設置していないかった。
6/3	男	68	刈払除草	就業先自衛隊宿舎にて草刈り作業中、刈払機で小石をはね飛ばし、同駐車場に駐車中の車両に小石が当たって、車両後部窓ガラスが破損した。
6/10	男	65	刈払除草	就業先団地敷地内の法面上部にて草刈り作業中、刈払機で小石をはね飛ばし、現場左下方向の駐車場に石が飛んで、駐車中の軽自動車に石が当たり、車体後部左側窓ガラス及びボディが破損した。
6/11	男	68	刈払除草	就業先緑道にて草刈り作業中、刈払機ではね飛ばした石が、通行人の足に当たった。通行人にけがはなかったが、公園管理団体宛に匿名で抗議の電話があり、防護ネットを使用しておらず危険であると指摘された。
6/21	女	71	家事援助	就業先である一般家庭内の生け花教室を清掃作業中、教室のテーブルに置かれた花瓶に掃除機の取っ手が接触し、花瓶が床に落ちて破損した。
6/30	男	65	ビル清掃	就業先マンションにて作業を終え、帰宅したところ、預かっていた鍵(駐輪場入口・受水槽置場・道具置場)を紛失した事に気づいた。

■自動車事故（5月1日～6月末日）

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
6/1	男	66	運転 (送迎)	発注者車両を運転中、私用で本の返却のために立ち寄った施設の駐車場にて、方向転換のためバックしていたところ、駐車中車両の後部と接触し、双方車両のバンパーが破損した。
6/8	男	63	運転 (送迎)	発注者車両を運転中、就業先前面道路にて、方向転換のためバックしていたところ、後方から走行してきた自転車と接触し、自転車が転倒した。
6/10	男	67	公園除草	就業先公園へ向かう前に車両を点検していたところ、エンジン下部が漏れているのを発見したため、詳しく調べたところ、エンジン下部のアルミ製オイルパンに亀裂があり、そこからオイルが漏れていますことが判った。車体下部が何らかの障害物に接触したことか原因と考えられるが、いつ頃どのような状況で接触したかは不明。
6/17	男	63	剪定	就業先近くにて、作業用軽トラックを方向転換させるためバックしていたところ、荷台に積まれた脚立が民家の土塀に接触し、瓦が破損した。
6/26	男	67	運転 (送迎)	発注者送迎バスを運転中、T字路を右折しようとした際、左方向より直進してきた軽自動車と接触し、自車両の助手席ドア付近及び相手車両の前部バンパー、ポンネットが破損した。自車両の同乗者2名及び、双方の運転手ともけがはなかった。
6/24	男	68	配食	配食車を運転して利用者宅の団地へ行った際、団地敷地内通路に停めていたところ、対向車が来たため、一旦近くの駐車場にバックで入庫してやり過ごし、右折して出ようとした。ところがブロック塀のすぐ近くに停めたため、一回の切り返しでは出ることが出来ず、何度も動かしているうちに、車体右側がブロック塀と接触し、車体の4箇所に傷がついた。

◆◆◆◆平成22年度 県連合「安全標語」入賞作品◆◆◆◆

安全と 健康管理は 自分から

（社）福岡市シルバー人材センター 東支部 永澤 隆

交通費の見直しについて

センターの事業は、地域に密着した臨時的かつ短期的な仕事を民間事業所や家庭等から請負や委任といった形式により有償で引き受け、その仕事を会員に対して請負や委任により提供し、会員がその仕事を完成するという関係にあります。

したがって、交通費は仕事を請負った会員が、自己の負担において行うべき問題といえ、そのことから、交通費も請負金額の中に含まれているものと考えられる旨の通達が当時の労働省より出されておりました。

しかしながら、当センターでは、上記の通達や上部団体である福岡県シルバー人材センター連合会からの指導があったにも関わらず、一律の交通費を設定しておりました。

今回、公益社団法人への申請に向け準備を進めて行く中で、センターの適正な運営には交通費の見直しが必要不可欠となったことから、総務部会、業務部会において議論を行い、平成22年6月の理事会において、平成23年度から交通費の原則廃止、それに伴う影響を軽減するため、新たな配分金単価を適用することとなりました。

詳しい内容については、今後、シルバーだよりや本部及び支部での会議などでお知らせを行いますので、会員の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



か よい ちょう 駕与丁公園ウォーク&バラ園観賞

先般5月20日(木)、粕屋町の駕与丁公園でウォーキングとバラ園観賞を企画しましたところ、90名を越す会員にご参加いただきました。

当公園は大濠公園の3倍の面積を持ち、春は桜、秋は紅葉、間にバラ・菖蒲・新緑など楽しみながら、ウォーキングやジョギングができるという、知る人ぞ知る公園で、初めての方も多かったと存じます。如何でしたか。



当日は天気予報に反し、11時頃から小雨がぱらついたため、4.2195キロを完歩された会員は10数名だけでした。多くの方は半周地点にあるバラ園でウォーキングをやめ、最盛期を終えましたが180種2,400本におよぶ名残りのバラたちを堪能されたようです。

全国各地・各町の愛好家たちにより開発された珍しいバラなども結構多かったようで、確かに一見の価値はありました。

あいにくの天気で、ゆっくり昼食もできなかったかと存じますが、それぞれ東屋の下でグループ毎に何とか楽しく過ごせたようでもあり、大した混乱もなく、三々五々自由解散することができました。会員の皆様の心優しいご協力に感謝いたしております。有難う御座いました。

尚、秋には歴史探訪も企画しますので、是非ご参加下さい。

(担当委員 小杉)



互助会だより

平成22年度 互助会行事

「ボウリング大会」 参加者募集

① 開催日時……………平成22年9月15日(水)

② 開催場所……………西新パレス (早良区西新)

③ 集合時間……………16時00分

④ スタート時間………16時30分



⑤ 参加費用……………1,000円 (靴代は個人負担)

⑥ 参加募集締切日…8月30日(月)

⑦ 申込方法……………会員番号・氏名・住所・年齢・性別・電話番号を
ご記入の上、ハガキまたはファックスにて、
各支部互助会業務委員宛にお申込み下さい。

(電話での申込みは、ご遠慮ください)

東 支部 〒812-0061 東区菅松2丁目1-27 FAX 092-624-4682

博多支部 〒812-0044 博多区千代1丁目21-16 FAX 092-633-4681

中央支部 〒810-0044 中央区六本松1丁目2-22 FAX 092-713-4453

南 支部 〒815-0033 南区大橋3丁目17-3 FAX 092-551-5300

城南支部 〒810-0044 中央区六本松1丁目2-22 FAX 092-731-7731

早良支部 〒814-0006 早良区百道2丁目1-35 FAX 092-821-4899

西 支部 〒819-0002 西区姪の浜4丁目8-28 FAX 092-881-4761

わが町の歴史散歩

⑯西区編

「生の松原と壱岐神社」



生の松原

昔、「筑前八松原」といわれていた松原の一つが、西区十郎川河口から西に広がる「生の松原」です。



正面に能古島を望む

筑前八松原とは、生の松原、百道松原(紅葉松原)、千代の松原、地蔵松原、奈多松原、古賀松原、さつき松原、三里松原といわれています。

生の松原は、東西約1,300m、南北約500mといわれており、これは福岡藩主黒田長政の奨励とされており、長政は元和9年(1623年)、56歳で亡くなっていますが、死の直前まで松を植えさせたということです。

生の松原には、神功皇后が三韓遠征の折、「無事勝利することが叶うなら、逆さに植えた松を生き返らせ給え」と祈ったところ、無事生き返ったという「逆さ松」伝説があります。

また、ここは「元寇の役」で舞台となったところです。

壱岐神社

神功皇后伝説に登場する重要人物に、たけのうちのすぐね武内宿禰がおります。

日本書紀によると、第12代景行天皇から神功皇后を含めて仁徳天皇まで6代の天皇に仕え、360余歳で因幡国に下向し、世を去ったと「因幡国風土記」は伝えているようです。

或るとき天皇より「筑紫の国で不穏な動きがあるから、治めてくるように」と、その役を武内宿禰は仰せつかりました。

都を留守にしているとき、武内宿禰の弟の甘美内宿禰が、天皇に「兄は筑紫国で三韓あま(朝鮮半島の国)と密かに謀議をこらし、天皇を亡き者にしようと企てております」と、まことしやかに吹き込みました。

天皇は怒って直ぐに筑紫へ討手を出しました。それを耳にした武内宿禰は「自分はもとより二心はなく、天皇に忠誠を尽くしているのに、罪なくして討たれるのは誠に残念」と嘆いておりました。

それを聞いた武内宿禰の家来の壱岐直真根子が、「お嘆きはもっともです。幸いに、私の姿形が大臣に似ていますので身代わりになります。大臣は密かに京へ上り、天皇に無実の申し開きをしてください。それでも死を賜るならば止むを得ないでしょう」と言って自ら命を絶ったのです。

武内宿禰は深く悲しみましたが、彼の死を無にしてはいけないと、陸路を避けて海路都に上り天皇に弁明しました。

天皇は、兄弟を対決させたが決着が付かず、当時行われていた「深湯」という方法で裁判が行われ、武内宿禰の無実が証明されました。

身代わりとなって命を絶った、壱岐直真根子の靈を祀ったのが壱岐神社といわれ、生の松原の南端に建っています。

現在の社殿は三年前改築されましたが、神殿に「逆さ松」の子孫?の枯れた株が祀られています。

「元寇の役」など、昔話として心に留め、「白砂青松」の松原から、沖に望む能古島、玄界島、左に糸島半島を眺め、博多湾屈指の景色を楽しみましょう。



壱岐神社

参考図書 海鳥社「福岡歴史探訪」

広報委員 岡崎 幸雄



～楽しく歩いています～



城南支部サークルの一つである「楽しく歩こう会」は、支部では発足が一番古いサークルです。メンバーの顔ぶれも多少変わりましたが、女性のみの会で、無理せず歩くことをモットーに毎月楽しく歩いています。5月16日(日)は、粕屋町駕与丁公園の薔薇の花を堪能しました。広大な公園の一角にあるバラ園は、薔薇祭りの最中で多くの人で賑わっていました。都合で欠席されたメンバーにも見せてあげたいすばらしさでした。

城南支部 福山 喜久枝

平成22年度 広報委員紹介

みなさんに愛されるシルバーだよりとホームページが作れるよう、一生懸命がんばりますので、よろしくお願いします。



前列左から

西 区 岡崎 幸雄
理事(副) 本田 正郎
理事(正) 田中 邦美
南 区 高濱 一郎

後列左から

東 区 安武 和芳
早良区 高橋 勉
博多区 松井 洋治
中央区 井手上 勉
城南区 藤 勇三

事務局からのお知らせ

平成22年度 会費の口座振替について

シルバーだより6月号（第112号）でお知らせしましたとおり、7月20日に会費の口座振替を実施しましたが、預金残高の不足などで口座振替ができなかった会員さんがおられます。

上記の方々については、以下の日程で再度口座振替を実施しますので、実施日の前日までに、ご登録の預金口座へ入金をお願いします。

口座振替 平成22年9月21日(火)

会費の口座振替「未登録」の方へ

会費のお支払いがお済みでない方は、お早めに納入下さい。

なお、会費を納入する際、口座振替の登録をしている方は、配分金等のお支払い口座から会費を納入することができます。口座振替の登録を行うと金融機関へ出向く必要がなく、金融機関へ支払う手数料もかかりません。

まだ口座振替の登録を済ませていない方は、是非この機会にご登録下さい。

健康診断を受診し、安全・適正に就業しましょう！

本年度の取り組みとして、別紙のとおり、就業されている会員の皆様を対象に健康診断を受診していただき、その健康状態を確認させていただくことにより、安全・適正に就業していただきたいと考えております。会員の皆様が健康で安全に就業していただくことは、会員ご本人にとどまらず、ご家族の幸せにも繋がるものと思います。

趣旨をご賢察の上、この取り組みにご協力いただけますよう、よろしくお願ひします。

編集後記

福博の町も、うつとうしい梅雨空が追い山笠を境に晴れて夏本番となり、暑さとの闘いがやって来ました。

新年度から委員会の名称も従来の編集委員会、及びホームページ編集委員会を廃止し、新たに「広報委員会」が設置されました。

これを基にスタッフ一同、心新たにして日々のシルバー人材センターの活動を的確に把握し、会員皆様方への満足度に最大限努力してまいります。

このたよりが皆様のお手元に届く頃は一番暑いころと思いますので、くれぐれも健康にご留意されますようお願いします。

(T.I)

「ふくおかシルバーだより」

発行元／(社)福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16 TEL.(092)643-8200 FAX(092)651-5000 http://www.fukuoka-sjc.org/ e-mail honbu@fukuoka-sjc.org